

日本体育大学医療専門学校整復健康学科では以下の研究を実施しています。

この研究について詳細に知りたい方は「問い合わせ先」までお問い合わせください。また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の情報を「この研究課題に利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしくない」と思われた方は、情報の使用を拒否することができますので、「問い合わせ先」に連絡してください。

研究の名称	各科目の点数が柔道整復師国家試験点数および学内総合試験点数に及ぼす影響
研究責任者	整復健康学科 吉田 裕輝
研究期間	2024年11月1日～2027年3月31日
研究の目的・概要	近年柔道整復師国家試験の合格率は低下しています。少子化に伴い柔道整復師養成校の入試倍率は低下し、入学者の学力も低下していることが合格率低下の原因の一つと考えています。国家試験の合格率は、客観的な学校の評価として重要視されているため、合格率向上のために日々試行錯誤しながら教育に励んでいます。そこで今回、国家試験や総合演習理論の試験の科目毎の点数を調べ、その関連性を分析することで、どの科目が総合得点に強く影響を及ぼしているかを調査することを目的としました。解剖学、生理学、柔道整復理論は出題数が多いことから、総合得点に及ぼす影響は高いと予想していますが、本当にその通りか否か、検証します。国家試験合格に寄与する割合の高い科目を重点的に教育に取り入れ、かつ国家試験対策を行うことが、今後の国家試験合格率向上に重要であると考えています。
利用または他機関に提供する情報	2019から2024年度に日本体育大学医療専門学校整復健康学科を卒業して柔道整復師国家試験を受験した卒業生のうち、国家試験の自己採点結果を同学校に通知された方の以下の情報を利用します。 国家試験の自己採点結果、総合演習理論の試験結果 ※国家試験不合格者が翌年受験した国家試験点数は使用しません。
情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供する場合はその方法を含む）	得られた情報から、国家試験の科目別取得点数と合否との関連性を分析します。総合演習理論の試験結果と国家試験の試験結果の相関分析を行います。得られたデータはすべて、仮名加工情報とすることで個人を特定できない形として保存します。そして、データ分析に用いる専用のコンピュータを用い、パスワード保護を行い、厳重に保管します。 得られた成果は、個人情報保護に配慮した上で学会や論文に発表されます。 当該研究で得られたデータは他施設への提供はありません。
情報を利用する者の範囲	研究責任者 日本体育大学医療専門学校 整復健康学科長 吉田 裕輝 研究担当者 日本体育大学医療専門学校 整復健康学科主任 園部 英貴 日本体育大学医療専門学校 整復健康学科 又吉 啓太 日本体育大学医療専門学校 整復健康学科 菱沼 良平
問い合わせ先	日本体育大学医療専門学校 整復健康学科 吉田 裕輝 電話：03-5717-6161